

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	N Y ダウ・インデックス・マザーファンドの受益証券
	N Y ダウ・インデックス・マザーファンド	イ. 米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。） ロ. 米国の企業のD R（預託証券） ハ. 米国株式の指数との連動をめざすE T F（上場投資信託証券）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、米国の株式（D Rを含みません。以下同じ。）（※）に投資し、投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。 ※効率性の観点から米国株式の指数との連動をめざすE T Fに投資する場合があります。</p> <p>②運用の効率化を図るため、株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式等の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

iFree NYダウ・インデックス

運用報告書(全体版) 第2期

(決算日 2018年9月7日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「iFree NYダウ・インデックス」は、このたび、第2期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00~17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率					
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末(2017年 9月 7 日)	12,915	0	29.2	12,646	26.5	92.3	2.5	5.7	2,353
2 期末(2018年 9月 7 日)	15,850	0	22.7	15,257	20.6	96.4	2.1	1.8	7,552

(注 1) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和投資信託が計算したものです。

(注 2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 3) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

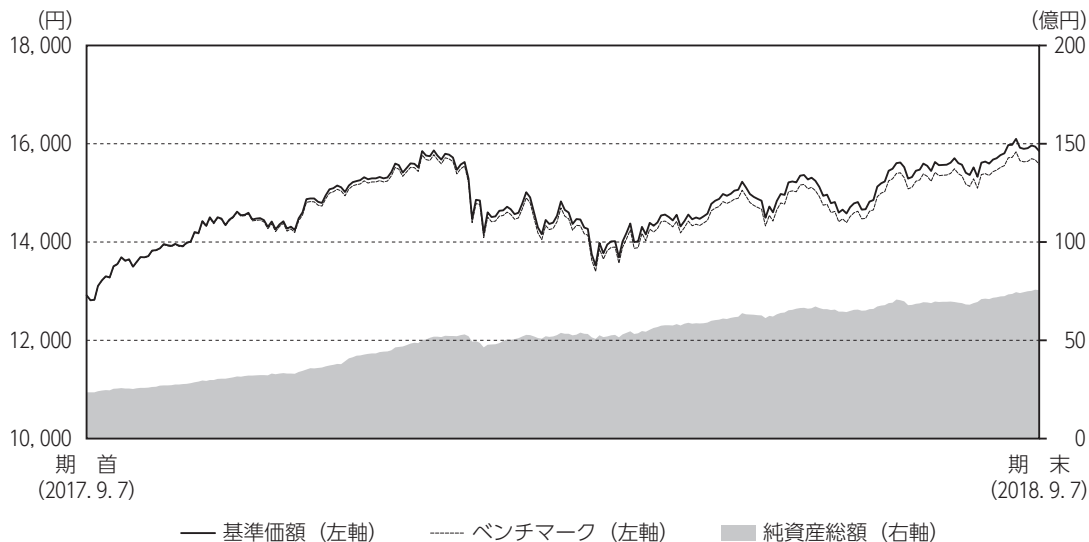
(注 4) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (以下「当インデックス」といいます。) は S&P Dow Jones Indices LLC (「S P D J I」) の商品であり、これを利用するライセンスが大和証券投資信託委託株式会社に付与されています。Standard & Poor's® および S & P® は Standard & Poor's Financial Services LLC (「S & P」) の登録商標で、Dow Jones® は Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスが S P D J I に、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが大和証券投資信託委託株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P またはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) です。

基準価額・騰落率

期首：12,915円

期末：15,850円

騰落率：22.7%

基準価額の主な変動要因

ベンチマーク (ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース)) の動きをほぼ反映して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (円ベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率
	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率				
	円	%		%	%	%	%
(期首)2017年9月7日	12,915	—	12,646	—	92.3	2.5	5.7
9月末	13,691	6.0	13,399	6.0	89.1	2.4	8.7
10月末	14,347	11.1	14,032	11.0	93.0	2.2	5.2
11月末	14,605	13.1	14,246	12.7	94.0	2.3	3.9
12月末	15,294	18.4	14,905	17.9	89.4	3.5	7.2
2018年1月末	15,468	19.8	15,066	19.1	89.8	3.0	7.6
2月末	14,910	15.4	14,489	14.6	92.5	2.6	5.7
3月末	14,011	8.5	13,599	7.5	95.4	2.0	3.0
4月末	14,560	12.7	14,125	11.7	93.5	2.0	4.5
5月末	14,722	14.0	14,240	12.6	95.5	1.9	2.8
6月末	14,707	13.9	14,216	12.4	97.4	1.9	0.9
7月末	15,447	19.6	14,919	18.0	96.4	1.8	1.7
8月末	15,917	23.2	15,327	21.2	92.3	2.5	6.0
(期末)2018年9月7日	15,850	22.7	15,257	20.6	96.4	2.1	1.8

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.9.8 ~ 2018.9.7)

■ 米国株式市況

米国株式市況は、期首より、良好な決算発表や景況感の改善などを背景に、底堅く推移しました。2018年2月に入ると、米国の利上げ加速への警戒感などから市況は下落しました。その後は、米中貿易摩擦をめぐる不透明感が高まる場面もありましたが、企業決算が好調な滑り出しとなったことや欧米間の貿易面での緊張緩和などが好感され、上昇基調で期末を迎えました。

■ 為替相場

米ドル円為替相場は、期を通してみると米ドル高円安となりました。2017年9月に、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で2017年内の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから円安傾向となりましたが、その後はおおむね横ばいで推移しました。2018年に入ると、米国のムニューシン財務長官による米ドル安容認発言などから米ドルが下落し、2月には、米国が保護主義的な政策を相次いで打ち出したことや米国の株価が急落したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、米ドルの下落傾向は続きました。しかし4月以降は、米国の金利が上昇したことなどから米ドルが上昇基調で推移しました。

前期における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、NYダウ・インデックス・マザーファンドの受益証券をほぼ100%組み入れることで、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なってまいります。

■ NYダウ・インデックス・マザーファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、ベンチマーク（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース））の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なってまいります。

ポートフォリオについて

(2017. 9. 8 ~ 2018. 9. 7)

■当ファンド

「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れました。

■NYダウ・インデックス・マザーファンド

米国株式を中心に、ダウ・ジョーンズ工業株価平均との連動をめざす先物・外国投資信託（ETF）も一部利用し、株式組入比率（ETF、株式先物を含む）につきましては、期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均の採用銘柄に投資を行なうことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）との連動性を維持・向上させるよう運用を行ないました。

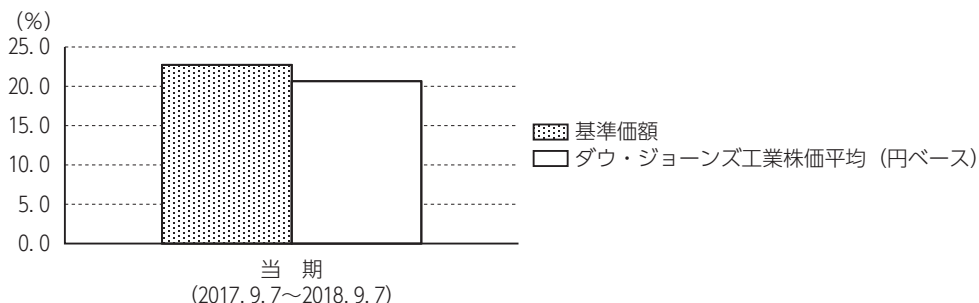
ベンチマークとの差異について

ベンチマーク（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース））の騰落率は20.6%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は22.7%となりました。

当ファンドが組み入れているマザーファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないため、かい離要因となりました。

その他、マザーファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異、信託報酬、売買コスト等がかい離要因として挙げられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年9月8日 ～2018年9月7日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,850

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、NYダウ・インデックス・マザーファンドの受益証券をほぼ100%組み入れることで、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なってまいります。

■NYダウ・インデックス・マザーファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017.9.8~2018.9.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0.243%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,788円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0.130)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.086)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(4)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.007)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(投資信託受益証券)	(1)	(0.006)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	4	0.028	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	43	0.288	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年9月8日から2018年9月7日まで)

項目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
NYダウ・インデックス・マザーファンド	3,378,937	5,061,420	455,123	681,810

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年9月8日から2018年9月7日まで)

項 目	当 期
	NYダウ・インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,454,511千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,844,669千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.91

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
NYダウ・インデックス・マザーファンド	1,816,268	4,740,082	7,550,951			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
NYダウ・インデックス・マザーファンド	7,550,951	99.4
コール・ローン等、その他	42,523	0.6
投資信託財産総額	7,593,475	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲価をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.51円です。

(注3) NYダウ・インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,460,506千円)の投資信託財産総額(8,044,770千円)に対する比率は、92.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月7日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,593,475,430円
コール・ローン等	42,523,568
NYダウ・インデックス・マザーファンド(評価額)	7,550,951,862
(B) 負債	41,117,389
未払解約金	33,235,400
未払信託報酬	7,709,773
その他未払費用	172,216
(C) 純資産総額(A-B)	7,552,358,041
元本	4,764,860,704
次期繰越損益金	2,787,497,337
(D) 受益権総口数	4,764,860,704口
1万口当り基準価額(C/D)	15,850円

* 期首における元本額は1,822,074,840円、当期中における追加設定元本額は5,165,309,525円、同解約元本額は2,222,523,661円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,850円です。

■損益の状況

当期 自 2017年9月8日 至 2018年9月7日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,388円
受取利息	3,043
支払利息	△ 11,431
(B) 有価証券売買損益	622,110,517
売買益	819,329,007
売買損	△ 197,218,490
(C) 信託報酬等	△ 12,573,804
(D) 当期損益金 (A + B + C)	609,528,325
(E) 前期繰越損益金	48,392,037
(F) 追加信託差損益金	2,129,576,975
(配当等相当額)	(204,091,560)
(売買損益相当額)	(1,925,485,415)
(G) 合計 (D + E + F)	2,787,497,337
次期繰越損益金 (G)	2,787,497,337
追加信託差損益金	2,129,576,975
(配当等相当額)	(204,091,560)
(売買損益相当額)	(1,925,485,415)
分配準備積立金	657,928,750
繰越損益金	△ 8,388

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	609,534,579
(c) 収益調整金	2,129,576,975
(d) 分配準備積立金	48,394,171
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,787,505,725
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,787,505,725
(h) 受益権総口数	4,764,860,704口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

NYダウ・インデックス・マザーファンド

運用報告書 第2期 (決算日 2018年9月7日)

(計算期間 2017年9月8日～2018年9月7日)

NYダウ・インデックス・マザーファンドの第2期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。） ロ. 米国の企業のDR（預託証券） ハ. 米国株式の指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）
運用方法	①主として、米国の株式（DRを含みます。以下同じ。）（※）に投資し、投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。 ※効率性の観点から米国株式の指数との連動をめざすETFに投資する場合があります。 ②運用の効率化を図るため、株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式等の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

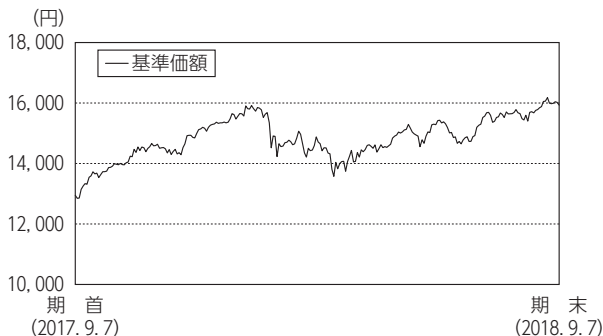
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース)		株組比	式入率	株先比	式物率	投資信託受益証券組入比率
	騰落率	(円)	(%)	(%)					
(期首)2017年9月7日	—	12,948	—	12,646	—	92.3	2.5	5.7	—
9月末	6.0	13,728	6.0	13,399	89.1	2.4	8.7	—	—
10月末	11.1	14,389	11.0	14,032	93.0	2.2	5.2	—	—
11月末	13.2	14,651	12.7	14,246	94.0	2.3	3.9	—	—
12月末	18.5	15,345	17.9	14,905	89.4	3.5	7.2	—	—
2018年1月末	19.9	15,523	19.1	15,066	89.8	3.0	7.6	—	—
2月末	15.6	14,965	14.6	14,489	92.5	2.6	5.7	—	—
3月末	8.6	14,066	7.5	13,599	95.4	2.0	3.0	—	—
4月末	12.9	14,620	11.7	14,125	93.5	2.0	4.5	—	—
5月末	14.2	14,786	12.6	14,240	95.5	1.9	2.8	—	—
6月末	14.1	14,774	12.4	14,216	97.5	1.9	0.9	—	—
7月末	19.9	15,521	18.0	14,919	96.4	1.8	1.7	—	—
8月末	23.5	15,996	21.2	15,327	92.3	2.5	6.0	—	—
(期末)2018年9月7日	23.0	15,930	20.6	15,257	96.5	2.1	1.8	—	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,948円 期末：15,930円 騰落率：23.0%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマーク (ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース)) の動きをほぼ反映して、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、期首より、良好な決算発表や景況感の改善などを背景に、底堅く推移しました。2018年2月に入ると、米国の利上げ加速への警戒感などから市況は下落しました。その後は、米中貿易摩擦をめぐる不透明感が高まる場面もありましたが、企業決算が好調な滑り出しとなったことや欧米間の貿易面での緊張緩和などが好感され、上昇基調で期末を迎えました。

○為替相場

米ドル円為替相場は、期を通してみると米ドル高円安となりました。2017年9月に、FOMC (米国連邦公開市場委員会) で2017年内の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから円安傾向となりましたが、その後はおおむね横ばいで推移しました。2018年に入ると、米国のムニユーン財務長官による米ドル安容認発言などから米ドルが下落し、2月には、米国の保護主義的な政策を相次いで打ち出したことや米国の株価が急落したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、米ドルの下落傾向は続きました。しかし4月以降は、米国の金利が上昇したことなどから米ドルが上昇基調で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

今後の運用にあたりましても、引き続き、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

米国株式を中心に、ダウ・ジョーンズ工業株価平均との連動をめざす先物・外国投資信託 (ETF) も一部利用し、株式組入比率 (ETF、株式先物を含む) につきましても、期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均の採用銘柄に投資を行なうことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) との連動性を維持・向上させるよう運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマーク (ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース)) の騰落率は20.6%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は23.0%となりました。

ファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないため、かい離要因となりました。

その他、ファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異、信託報酬、売買コスト等がかい離要因として挙げられます。

《今後の運用方針》

今後の運用にあたりましても、引き続き、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なってまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション) (投資信託受益証券)	2円 (1) (0) (1)
有価証券取引税 (株式) (投資信託受益証券)	0 (0) (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)
合 計	6

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2017年9月8日から2018年9月7日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国 アメリカ	百株 3,433.4 ()	千アメリカ・ドル 40,301 ()	百株 160.4	千アメリカ・ドル 204

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2017年9月8日から2018年9月7日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
BOEING CO/THE (アメリカ)	10.91	384,969	35,285	GENERAL ELECTRIC CO (アメリカ)	16.04	22,599	1,408
GOLDMAN SACHS GROUP INC (アメリカ)	10.91	298,079	27,321				
UNITEDHEALTH GROUP INC (アメリカ)	10.91	277,429	25,428				
3M CO (アメリカ)	10.91	268,720	24,630				
HOME DEPOT INC (アメリカ)	10.91	221,771	20,327				
APPLE INC (アメリカ)	10.91	214,864	19,694				
MCDONALD'S CORP (アメリカ)	10.91	198,342	18,179				
INTL BUSINESS MACHINES CORP (アメリカ)	10.91	184,113	16,875				
CATERPILLAR INC (アメリカ)	10.91	179,367	16,440				
JOHNSON & JOHNSON (アメリカ)	10.91	162,655	14,908				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託受益証券

(2017年9月8日から2018年9月7日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 アメリカ	千口 146.38 ()	千アメリカ・ドル 36,227 ()	千口 147.3 ()	千アメリカ・ドル 36,359 ()

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

(2017年9月8日から2018年9月7日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 株式先物取引	百万円 1,775	百万円 1,694	百万円 —	百万円 —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

NYダウ・インデックス・マザーファンド

(2) 投資信託受益証券

(2017年9月8日から2018年9月7日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
SPDR DJIA TRUST (アメリカ)	146.38	3,987,710	27,242	SPDR DJIA TRUST (アメリカ)	147.3	3,991,363	27,096

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	株数	株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)						
APPLE INC	62.8	171.9	3,835	423,815	情報技術	
BOEING CO/THE	62.8	171.9	6,038	667,295	資本財・サービス	
VERIZON COMMUNICATIONS INC	62.8	171.9	933	103,132	電気通信サービス	
JPMORGAN CHASE & CO	62.8	171.9	1,961	216,751	金融	
CATERPILLAR INC	62.8	171.9	2,433	268,935	資本財・サービス	
CISCO SYSTEMS INC	62.8	171.9	812	89,816	情報技術	
COCA-COLA CO/THE	62.8	171.9	786	86,947	生活必需品	
EXXON MOBIL CORP	62.8	171.9	1,383	152,847	エネルギー	
GENERAL ELECTRIC CO	62.8	—	—	—	資本財・サービス	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	62.8	171.9	4,031	445,509	金融	
HOME DEPOT INC	62.8	171.9	3,539	391,122	一般消費財・サービス	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	62.8	171.9	2,516	278,092	情報技術	
JOHNSON & JOHNSON	62.8	171.9	2,352	260,007	ヘルスケア	
MCDONALD'S CORP	62.8	171.9	2,814	311,051	一般消費財・サービス	
3M CO	62.8	171.9	3,657	404,135	資本財・サービス	
MERCK & CO. INC.	62.8	171.9	1,192	131,798	ヘルスケア	
DOWDUPONT INC	62.8	171.9	1,204	133,128	素材	
NIKE INC -CL B	62.8	171.9	1,382	152,733	一般消費財・サービス	
PFIZER INC	62.8	171.9	718	79,368	ヘルスケア	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	62.8	171.9	1,420	157,007	生活必需品	
CHEVRON CORP	62.8	171.9	1,980	218,898	エネルギー	
TRAVELERS COS INC/THE	62.8	171.9	2,278	251,838	金融	
UNITED TECHNOLOGIES CORP	62.8	171.9	2,295	253,643	資本財・サービス	
UNITEDHEALTH GROUP INC	62.8	171.9	4,635	512,245	ヘルスケア	
WALT DISNEY CO/THE	62.8	171.9	1,895	209,457	一般消費財・サービス	
WALMART INC	62.8	171.9	1,657	183,222	生活必需品	
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	—	171.9	1,169	129,234	生活必需品	
VISA INC-CLASS A SHARES	62.8	171.9	2,483	274,501	情報技術	
AMERICAN EXPRESS CO	62.8	171.9	1,811	200,224	金融	
INTEL CORP	62.8	171.9	812	89,778	情報技術	
MICROSOFT CORP	62.8	171.9	1,869	206,569	情報技術	
ファンド合計	株数金額	1,884	5,157	65,904	7,283,113	
	銘柄数<比率>	30銘柄	30銘柄		<96.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首 口数	当期 口数	期末 評価額	
			外貨建金額 千アメリカ・ドル	邦貨換算金額 千円
(アメリカ) SPDR DJIA TRUST	千口 5.61	千口 4.69	1,220	134,906
合計	口数、金額 銘柄数 < 比率 > 1銘柄	4.69 1銘柄	1,220	134,906 <1.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額 百万円	売建額 百万円
外国 DJIA MINI E-CBOT (アメリカ)	158	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月7日現在

項目	当期末	
	評価額 千円	比率 %
株式	7,283,113	90.5
投資信託受益証券	134,906	1.7
コール・ローン等、その他	626,750	7.8
投資信託財産総額	8,044,770	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.51円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(7,460,506千円)の投資信託財産総額(8,044,770千円)に対する比率は、92.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月7日現在

項目	当期末
(A) 資産	8,161,798,326円
コール・ローン等	110,625,375
株式(評価額)	7,283,113,931
投資信託受益証券(評価額)	134,906,199
未収入金	551,651,520
未収配当金	21,837,280
差入委託証拠金	59,664,021
(B) 負債	610,775,945
未払金	610,773,551
その他未払費用	2,394
(C) 純資産総額(A-B)	7,551,022,381
元本	4,740,082,776
次期繰越損益金	2,810,939,605
(D) 受益権総口数	4,740,082,776口
1万口当り基準価額(C/D)	15,930円

* 期首における元本額は1,816,268,471円、当期中における追加設定元本額は3,378,937,853円、同解約元本額は455,123,548円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、iFree NYダウ・インデックス4,740,082,776円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,930円です。

NYダウ・インデックス・マザーファンド

■損益の状況

当期 自 2017年9月8日 至 2018年9月7日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	105,626,580円
受取配当金	105,425,055
受取利息	225,359
支払利息	△ 23,834
(B) 有価証券売買損益	695,645,771
売買益	792,761,259
売買損	△ 97,115,488
(C) 先物取引等損益	19,527,835
取引益	31,316,020
取引損	△ 11,788,185
(D) その他費用	△ 1,171,965
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	819,628,221
(F) 前期繰越損益金	535,515,689
(G) 解約差損益金	△ 226,686,452
(H) 追加信託差損益金	1,682,482,147
(I) 合計 (E + F + G + H)	2,810,939,605
次期繰越損益金 (I)	2,810,939,605

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均（以下「当インデックス」といいます。）は S&P Dow Jones Indices LLC（「S P D J I」）の商品であり、これを利用するライセンスが大和証券投資信託委託株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®] および S & P[®] は Standard & Poor's Financial Services LLC（「S & P」）の登録商標で、Dow Jones[®] は Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスが S P D J I に、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが大和証券投資信託委託株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P またはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。